

業務内容・販売品内容を告知することにより、会員間の相互利用を促すことができました。

3、各種公助との接続のための取り組み

ア、例会における事務局報告

鹿児島Y E Gでは、上記のとおり概ね月に1度例会という全体会を行っていますが、その際、鹿児島Y E G担当の鹿児島商工会議所職員から特に新型コロナウイルス関連の各種補助金について、詳しく説明をしてもらう時間を設けました。

各種の補助金については、各所において広報等されているものの、実際にどのようなものがあり、どのような条件で支給されるのかといったことについては、自分で時間をとって確認することが必要でした。

このため、鹿児島Y E Gでは、例会に参加された会員には、その時期に広報されている各種補助金については網羅的に確認してもらえるように、商工会議所職員からの報告をしていただくようにしています。

イ、アンケートへの協力

鹿児島Y E Gでは、2020年5月8日から同月13日までにかけて会員事業所に新型コロナウイルスに関するアンケートを行い、同結果を集計し、その結果となる要望書を、6月1日に鹿児島県知事宛てに提出しております。

また、九州ブロック商工会議所青年部連合会において、昨年度2020年3月18日に、九州管内の商工会議所青年部に属する事業所に対して、コロナウイルスの影響を調査するアンケートが行われました。同アンケート結果は、九州経済産業局に報告されました。

これに引き続き本年度も、九州ブロック商工会議所青年部連合会において、4月17日～26日にかけてアンケート調査が行われ、その結果が九州経済産業局に報告されています。

4、地域との協力

ア、地域活性化に向けた活動

鹿児島Y E Gは、鹿児島市の繁華街である天文館地区のほど近い場所に商工会議所ビルが存することもあり、これまでも天文館地区の方々に協力をいただきながらさまざまな事業を開催して参りました。

本年度も、新型コロナウイルスの影響を色濃く受ける天文館地区の活性化のために、天文館地区の方々と一緒に人を呼び込むための活動を行いました。